

数多くのカー用品に慣れ親しむ編集スタッフが身銭を切って買ったもののなかから、昨年度・2025年のベストバイをご報告。それはいったいどんなモノだったか!? 年始特別企画としてここでこっそりご報告!!

オレたちの
ベストバイ!

The 自腹

編集スタッフ編

carrozzeria
『TS-X210』は2個
1組で価格は1万
7600円とコスパも
いい。ウーファー・ミ
ッドレンジ・ツイーター
まで全てを収めて
容積もたっぷり。

見た目懐かし、技術は最新!?
いま買う“置き型スピーカー”



編集長、そして社長の権限を振りかざし、
偏ったモノに執着心を燃やす。買わずに
はいられない囚われの身を甘受。

偏囚長
ハルク



専用金具が同梱されることで、重
量物でもしっかりと設置固定が可
能。軽商用車などにも適合する汎
用性の高さもありがたい。



現代的な高品位なデザインにも満足
度高し。大仰に主張し過ぎることも
なく、さりげなく馴染む感じも好印象。
後方視界の遮蔽も気にならない。

足りなかった後ろをカバーし
車内全体を音でつつめた!

所有するなかで一番の古株である
35年物の輸入リッターカーには、
元々スピーカーがついていない。木
枠を起こして汎用のドアスピーカー
を前席左右に配置するパターンを試
すこと数度。ついには助手席下にパ
ワードサブウーファーを追加して一
応の溜飲を下げるも、まだどっかに
引っ掛かるものがあつた。
やはり、前だけじゃ足りん。昔流
行ったようなリヤのトノボードにス

と、そんなタイミングで届いたの
が、カロツツエリア『TS-X210』
ニューリリースの報。早速導入すれ
ば、まさにビンゴ! 不足していた
何かをしっかりと埋められた。
何より嬉しいのは、今この時世に
新製品を入手できること。忘れ去ら
れるいつぱうのニッチな旧車も相手
にしてみらえるありがたみは、今と
なつては希少でもある。

スピーカーを増設するプランを考えこ
すれ、すっかり第一線から外れた
スタイルだけに選択肢は乏しく、果
ては中古かとよぎった時点で候補か
ら外した。

DIXCEL製のSDタイプブレーキローター。
J32ティアナ用は2枚セットで前:3万4980円
/後:2万9920円。ネットショップにて前:2万
8000円/後:2万4000円で購入。



チラッと見えるスリットが
マニア心をくすぐるんだよね

2年ちよい前に入手した中古車。走
行距離が10万kmに近づきブレーキフィ
ールが甘くなっていたので、車検時に
フルードやパッド交換だけでなく思い
切ってブレーキ系を一新した。前後キ
ャリパーは内部をオーバーホール。同
時に純正に準じたブレーキロー
ターとブレーキパッド、ブ
レーキホースを新品に交換。
ブレーキローターは、ちょ
っと気になっていたディクセ
ル製ブレーキローターのSD
タイプをチョイス。ローター表
面に6本のストレー
トスリットが入っ
ており、摩擦係数
が最大で20%向上



用品村のご長老
ASA

クルマをいじり回して50年。添加剤
や省燃費グッズが大好きで、今ま
でどれくらいの用品を試したかわ
からなくなるくらいとか。

安心・安全度向上だけでなく
ブレーキングが快感になる!

してノーマルと同じような制動をした
場合、より軽い踏力で済むという。実際、
装着して500kmほどでしっかりと馴
染み、ブレーキペダルを軽く踏み込ん
だときに制動力がグッと立ち上がる感
触がジツにイイ。安心感はもちろん、走
るのがとても楽しくなった。ビッグキャ
リパー等も魅力的だが、純正アップグ
レードでも十分に満足できるのだ。



キャリパーのオーバーホールは、
感触向上が見込めるので一般車
なら走行10万kmを目安に行いた
い。シールキットは安全にかかわ
る部分なので純正品を選んだ。

ブレーキパッドは、エンドレスの
Mスポーツ+というストリートで
使いやすい低ダストタイプにし
た。前後とも約2万3000円。ブ
レーキホースは純正部品だ。



ホイールの際間からチラッと見え
るスリットが、さりげなく違いを主
張し自負心をくすぐるのだ。